

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	企画部地域づくり課	■担当係	協働推進係
■評価事業名称	男女共同参画講座開催事業		
■評価事業コード	010600 - 242	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり	
	■基本施策	01 市民主体によるまちづくりの推進	
	■施策	02 男女共同参画社会の実現	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	男女共同参画社会基本法		
■関連計画の名称	きたかみ男女共同参画プラン		
■事業の目的と概要	男女が互いの意思を尊重し、ともに支え合い、心豊かに暮らせるまちを目指す。男女共同参画社会形成のための意識啓発としての講座の開催、きたかみ市女性団体協議会と協働での講演会の開催		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	男女共同参画講座開催事業	市民		生き生きパートナーシップ講座等を開催(3回、延べ参加者数244人) 北上市を語る会(参加者数 131名)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	204	16	31	28	
人件費	3,458	3,518	4,623	4,406	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,662	3,534	4,654	4,434	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	生き生きパートナーシップ講座の開催回数	8回	2回	3回	3回	
03	参加者数	328人	89人	91人	244人	目標値240人以上

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- ☐ A. 順調
- ☒ B. 概ね順調
- ☐ C. 遅れている

達成状況の分析

①6/17 いわて男女共同参画フェスティバル(4人)、②9/16デートDV防止講座(172人)、③9/30父親講座(98人)→昨年度との人数の違いの主因はデートDV防止講座で、23年は上野中学校で3年生女子のみの受講であったために、人数が少なかったが24年度は、3学年全員だったので倍以上多い結果となった。

問題点・課題等

いわて男女共同参画フェスティバルの参加人数が例年少ないので、女性団体への働きかけの見直しと、周知方法について徹底し、人数を増やします。

1. 直接的な受益者の範囲

- ☒ 不特定多数に及ぶ
- ☐ 特定されるが多数に及ぶ
- ☐ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- ☐ 大きな不利益やリスクが生じる
- ☐ ある程度の不利益やリスクが生じる
- ☒ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☐ 類似の事業はない
- ☒ 類似の事業はあるが競合はない
- ☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ☐ ニーズが高まっている
- ☒ ニーズは変わらない
- ☐ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☐ 順位が中程度
- ☒ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☒ 順位が中程度
- ☐ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- ☐ 先進的またはユニークな事業である
- ☒ 他と同程度の事業である
- ☐ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- ☒ 民間委託等の拡充は難しい
- ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能
- ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- ☒ 今以上の効率化や改善は難しい
- ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能
- ☐ 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- ☐ I. 拡充
- ☒ II. 継続
- ☐ III. 縮小・要改善
- ☐ IV. 民間活用・協働事業化
- ☐ V. 廃止・休止
- ☐ VI. 完了

補足説明